

劇でつたえる 保育シリーズ 年少 5月

# ぼくたち、やってみる

第一話 おっと、とっと、トイレだよ♪

第二話 なんの幼虫？

(上演時間 約15分)

作・清田明世

## ● 登場人物

まさる (年少)	ちよつと引つ込み思案な男の子。
ゆうき (年少)	まっすぐな性格の男の子。
げんたろう (年少)	面白いことが好きな男の子。何でもリズムや歌にする。
ちほ (年少)	ちよつとおませな、先進的女の子。
さとみ (年少)	後ずさり気味だが、優しい女の子。
ナレーター	先生役。

## ● 今回のテーマについて

一段と春の暖かさを感じる気候となりました。オムツが外れて幼稚園に入った子ども、外れずに入った子ども、お家とは異なる環境に、トイレは失敗の連続です。トイレになかなか前向きになれない子どもたちへ、子どもたちならではの遊びの感覚を作品にしてみました。リズムカルに、面白い仕草、動作で、子どもたちがマネしてトイレに連なって行ってくれたら、嬉しいです。第二話は、春ならではの自然に目を向けた作品です。実演の場合は、小道具は敢えて使わない、台詞と動作で子どもたちの想像力・好奇心をかきたてる、という演出も面白いと思います。どんな生き物なのか。どんな色、形なのか。どんな様子なのか。このテーマを通して「やってみよう」「見てみたい」という心が刺激された子どもたちは、きつと、

**自分の足で、答えを探しに行くでしょう。**

## ● 本シリーズの演じ方

本シリーズは、先生役であるナレーターが舞台袖に立ち、舞台上の演者(パネルシアターの場合はパネルの絵)に向かってコメントや指導をしていく演出になっています。観客である園児の反応を巻き込みながら、園児が共感をもって演者を見ることがポイントです。

身近なテーマを取り上げますので、実演形式で行う場合は、各園の状況に沿った内容のアドリブなどをきかせながら、普段の子どもたちの様子と重なるように気軽に演じていただけたらと思います。パネルシアター形式で行う場合は、事前に各園の状況に沿ったパネルの準備が必要となります。

ナレーター

みなさん、こんにちは。  
私は、〇〇先生です。

みんなは、カレンダーって知ってるかな？

教室にあるカレンダーでも、出席ノートでもいいけど、カレンダーを見ると「5月」と書いてあります。

5月の幼稚園では、どんなことが起こるのかな？

これから、先生たちが、劇をします。

みんなと同じ、年少組の子どもたちのお話です。  
最後まで、見ていてくださいね。

\*

## 第一話

### 〇教室

ナレーター

ここは、年少組の教室です。  
子どもたちが、朝の準備をしているようですね。

ナレーター

ゆうきくんは、お着がえをしていますね。  
まさるくんは…、カバンの片づけが終わったところ  
のようです。

さとみちゃんは、自分の目印を確認して、カバンを  
棚に片付けているところです。

ちほちゃんは、準備が早いですね。タオルをかけて  
います。

げんたろうくんはというと…。

げんたろう

♪ あ〜れも、これ〜も、ポンポンポン ♪

ナレーター

ねえ、げんたろうくん。カバンの中の物が、ぜん  
ぶ出て、ちらかっているよ。

げんたろう

♪ ポンポンポン。いまからかたづけますポン♪  
♪ ぼく、げんたぬき。ポン ♪

※本シリーズは、初めて  
集団生活に飛び込む3  
才児を念頭に制作してい  
ます。文中では「幼稚園」  
と統一していますが、保  
育園やその他施設で使  
用される場合は、施設名  
を「変更」ください。

スモッグなど

モジモジしている。本当は  
トイレを我慢している。

げん、座り込んでいる。

げんを見て、仕方ない  
な、という顔になる。

「ポン」のところで、両手で  
こぶしを作り頭に置く  
(たぬきの耳)のポーズ。